

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 福祉 科目 社会福祉基礎

教科：福祉 科目：社会福祉基礎 単位数：1 単位
 対象学年組：第1学年 4組～ 組

使用教科書：（社会福祉基礎 実教出版）

教科 福祉 の目標：

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 社会福祉基礎 の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
社会福祉の実践において必要な知識について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する諸課題を発見し、援助者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決をする力を身に付けている。	健全で持続的な社会を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	社会福祉の理念 【知識・技能】 生活を支えるしくみを理解し、今後の地域社会と社会福祉との関わりについて理解する。 【思考・判断・表現】 基本的人権の尊重を理念として様々な人権に関する各種条約が採択されていることを理解し、今後の共生社会のあり方を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的人権の尊重を理念として様々な人権に関する各種条約が採択されていることを理解し、今後の地域社会と社会福祉との関わりについて主体的に考察する。	指導事項 ・現代の福祉理念 ・日本国憲法と社会福祉 ・地域生活と社会福祉 教材 ・ワークシート 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 社会福祉の理念について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会福祉の理念に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の理念の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	生活と福祉 【知識・技能】 家族の多様化と働き方の変化について理解するとともに、疾病構造の変化が医療に及ぼす影響と健康増進の取り組みについて理解する。 【思考・判断・表現】 日本の人口の推移とそれに伴う社会福祉の課題について理解するとともに、ICT技術の進歩による産業構造の変化や地域社会の変化について理解し、今後の地域社会のあり方を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代の変化に伴うライフコースの多様化について理解し、個人の人生における社会福祉施策との関わりを主体的に考察する。	指導事項 ・少子高齢化と人口減少に向かう日本 ・産業と地域社会の変化 ・家族と働き方の変化 ・疾病構造の変化 ・人の一生と社会福祉 教材 ・ワークシート 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 生活と福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生活と福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、生活と福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	諸外国における社会福祉 【知識・技能】 イギリスや北欧における福祉国家誕生の流れと歴史を理解するとともに、諸外国の社会福祉の歴史や特徴について理解する。 【思考・判断・表現】 諸外国の変遷の様子や北欧から発信されたノーモライゼーションの理念を理解し、諸外国のの取り組みをふまえて、今後の社会福祉のあり方を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 国によって社会福祉の状況は異なることをふまえて、共通する少子高齢化や貧困の問題などを理解し、諸外国と日本との違いを考察し、諸課題について主体的に解決する。	指導事項 ・社会福祉の歴史 ・イギリスにおける社会福祉の発展 ・アメリカにおける社会福祉の発展 ・北欧の社会福祉 ・ヨーロッパ大陸諸国の社会保障（ドイツ、フランス） ・アジアの少子高齢化と社会福祉の課題 教材 ・ワークシート 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 諸外国における社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 諸外国における社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、諸外国における社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

	<p>日本における社会福祉</p> <p>【知識・技能】 戦後の社会福祉制度の構築の過程と理念について理解するとともに</p> <p>【思考・判断・表現】 社会福祉の見直しとして日本型の福祉論が提起され、ノーマライゼーションの理念や在宅福祉の推進や介護保険制度の導入の流れを学ぶ。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 福祉六法から2000年以降の福祉サービスの変化を理解し、幅広い分野との協働による今後の福祉のまちづくりについて考察する。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代社会福祉の黎明期 社会事業の成立と発展 戦時厚生事業による福祉対策 戦後対策としての社会福祉の構築 高度経済成長期と社会保障・社会福祉の拡充 新世紀に向けた福祉改革と介護保険制度の導入 子ども・家庭支援のさらなる充実をめざして 障害者福祉のさらなる充実をめざして 次代に向けた新たな社会福祉の挑戦 	<p>【知識・技能】 日本における社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本における社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、日本における社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>人間の尊厳と新たな社会福祉の創造</p> <p>【知識・技能】 現代の社会福祉が自立生活支援を目指していることを理解し、社会の変化やニーズに応じて今後の自立生活支援のあり方を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 人間に内在する「人間の尊厳」という価値を理解し、福祉サービス利用者に対する自立支援のあり方を考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 社会的包摂の実現に向けて求められる福祉社会像を理解し、行政や専門職だけでなくボランティアとの協働などそれぞれの役割を考察する。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間としての尊厳 自立支援生活 新たな社会福祉の構築に向けて <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート 等 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 人間の尊厳と新たな社会福祉の創造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 人間の尊厳と新たな社会福祉の創造に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、人間の尊厳と新たな社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
					○	○	